



山名一族会報

全国山名氏一族会
〒697-1311 兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡2365 法堂寺内
電話 0799619811 1151
FAX 0799619811 1161

第21回総会実施『源氏三社を巡る』

去るH26年11月29、30日に掛けて、第21回山名会総会を実施しました。今回の主題は「山名氏の源流をめぐる」とし、山名氏も元を遡れば足利氏等と同じく新田氏流の清和源氏の流れを汲む一族。今次総会では清和源氏の原点中の原点である六孫王神社・多田神社・壺井八幡宮の源氏三社を巡り、遠祖の息吹を肌で感じつつ、今日に至る悠久の時の流れに思いを寄せて頂くことと計画致しました。

第21回総会の実施

昨年の総会は事務局の地元但馬の出石・竹田城で開催でも有り、歴史講演や山名赤松両氏慰霊法要&登城に一般の方々も交えて賑やかにを行いました。今回の総会は「清和源氏の



六孫王神社拝殿前
総会後の記念写真撮影前。この後拝殿内で源經基王参拝。会の発展祈願を受ける。

源流を巡る」をテーマに、清和源氏発祥から山名氏に至る道筋を少しでも実感願おうと、清和源氏ゆかりの地である六孫王神社（源氏の祖・源經基由緒）・多田神社（源經基王長子・満仲公由緒）と河内源氏発祥の壺井八幡宮（満仲公三男・頼信公由緒）を訪ね、遠祖ゆかりの地を歩み、土地の雰囲気味わって頂く計画しました。総勢27名のご参加を得て無事に実施出来ました。

第1日目行事

初日の11月29日、午前中はあいにく前日からの雨が残り天気でしたが、総会開始のお昼過ぎには天候も徐々に回復し、暖かな日差しに包まれてのスタートとなりました。初日の予

定は、年次総会・歴史講演・六孫王神社参拝の予定です。

年次総会

年次総会では通常の前算決算・事業計画等、前半は通常の議案を審議し、後半では若干の会則変更変更と任期満了に伴う役員改選を行いました。

現会則は旧山名会発足時（S63）の会則を基本としており、会則中の文言に古い表現も有り、その点を是正しました。

また、会則中の「会の目的」、「会の事業」に内容を追加しました。（規約の変更は別紙をご参照ください。）

会則の変更に伴い役職体制の見直しの提案も有りましたが、当面現在



年次総会（六孫王会館）
5月の理事会に引き続き、六孫王神社会館をお借りしました。

の体制で臨むことも確認しました。

役員改選

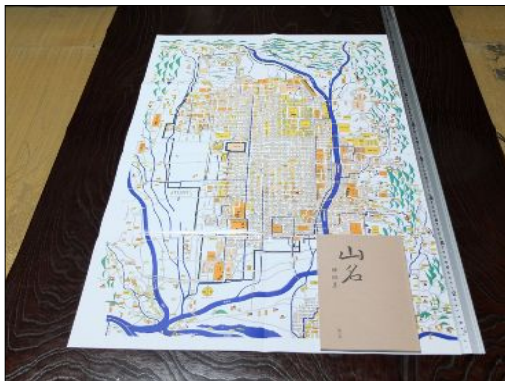
基本的には現職留任の方向で、各役員様にお願いをさせて頂きました。が、山名義範理事長様ご勇退に伴い、山名靖英常任理事が理事長就任。一名空席になった常任理事には、山名嗣宣理事が就任頂きました。

理事につきましては、今までの理事様に加え、今回の総会にご参加頂きました山名喜久男氏・佐伯省三氏も加わって頂き、また、旧山名会副理事長の三王紀将氏の相談役への推薦も有り、共に参加者総意の元、ご賛同頂きました。

歴史講演

年次総会後の歴史講演では、山名年浩会長にマイクを握って頂き、会長にご用意頂きました「京近世図」を基にして「近世京都の地図に見る歴史の流れ」と題した講演を頂きました。

現在ある大学等大きな建物の前身や、持ち主の変遷、街並みの移り変わり等、面白い昔話を交えてお話し頂きました。講演の様子は、後日編集し皆さんにもご覧いただけるよう準備中です。今しばらくお待ちくだ



京近世図と山名第6号

歴史講演の資料として、ご用意頂きました。新聞見開き大の大きさに印刷しています。若干余分有り。



年歴史講演(講師:山名年浩会長)

貴重な史料「京近世図」をご準備頂きました。後日講演の動画を準備致します。

さい。
 尚、講演でお配りいたしましたA1サイズ(新聞見開き大)「京近世図」ですが、ポスターフレーム等に納めていただくと立派な史料となります。是非お試しください。

また、「京近世図」には少し余分がござります。ご入り用の方が御座いましたら事務局までご連絡ください。

六孫王神社参拝

歴史講演終了後は場所を六孫王神社拝殿に移して、宮司様・権宮司様に「ご出仕頂き、経基王参拝と山名会の盛会祈願を執り行って頂きました。経基王御祭祀の社殿内は威厳に満ち満ちて居ました。祈願の後、宮司様から神社の謂われ等、お話をうかがいました。

先ほどの歴史講演の内容とも関連し、明治の神仏分離までは、この地に通法寺と共に有り、その境内は現在の三倍以上の広さで元々は梅小路まで続いていたそうです。明治の鉄



六孫王神社拝殿

拝殿内にて御祭神・源経基王の参拝及び、会の盛会祈願を行って頂きました。

道建設の際、そして昭和の経済成長期には新幹線用地にと、その都度境内を提供して現在に至っているとのこと。

古式ゆかしい社殿内で、時折聞こえてくる梅小路SL館の汽笛の音、側の高架を通る新幹線の通過音。経基王の邸宅跡から現在の六孫王神社への移り変わりを聞いていますと、自分が何時の時代に居るのか分からなくなるように感じを覚えました。

太子温泉

翌日の訪問先が大坂周辺の壺井八幡宮・多田神社で有り、なるべく初日の内に少しでも訪問先に近づきたい思いで、宿舎を南河内の太子温泉にしました。きらびやかな高級旅館では有りませんが、”聖徳太子ゆかりの湯”に浸かり、南河内の味とサーブスを楽しみながら、夜遅くまで今期の活動について語り合いました。

叡福寺

明けて第2日目は朝から10月中旬を思わせるような好天、名残の紅葉に彩られる中での一日となりました。太子温泉から壺井八幡宮に向かう道中に聖徳太子の御陵をお守りする

叡福寺が有ります。”日本仏教の祖”として、古くから聖徳太子への信仰は定着しており、この叡福寺には弘法大師や親鸞聖人を始め数多くの高僧・開祖が太子を身近に感じようと籠もられたと言われます。山名会とは直接の関わりはないのですが、素通りするには惜しい所ですので、開門前後の慌ただしい参拝でしたが、太子の御陵だけ参拝させて頂きました。

壺井八幡宮

六孫王・源経基が清和源氏の祖、経基の長子が源満仲、その三子が源頼信で壺井に拠点を定めて河内源氏を名乗り、壺井八幡宮近くに残る通法寺(六孫王社のお寺と同名)跡に



壺井八幡宮参拝

拝殿にて玉串を奉納し、その後宮司様御先導で河内源氏三代廟を巡拝して回りました。

は、頼信・頼義・義家（八幡太郎）の御廟が点在します。

壺井八幡宮では、先ず宮司様にお導き頂き参拝と平成7年の再建事業を行われた際のお話など頂きました。また、当日は再建事業の折、山名会が奉納しました幟を探し出し掲げて我々を歓迎して頂きました。参拝の後には宮司様自ら先頭に立って、河内源氏三代の御廟を案内して頂き、各廟所では線香をお供え致しました。

多田神社



山名会の幟（H7年奉納）
平成7年に奉納した山名会の幟を参拝にあわせ揚
揚し、歓迎下さいました。

宝塚での昼食を挟み、途中道路渋滞などあったもので多田神社へは予定を大幅に遅れての到着となり、神社様にはご心配をお掛け致しました。多田神社は言わずと知れた清和源氏の本拠地。経基王の跡を継いだ満

仲公が強大な武士集団を形成し各流派の礎を築き、ここから枝分かれしていきます。

参拝では拝殿内での参拝に引き続き、本殿前に場所を移しては宮司様からお話を伺い、森厳な雰囲気に覆われた満仲公御廟を参拝させて頂き



多田神社本殿

神社参拝の後、本殿、満仲公御廟へのご案内、ご説明頂きました。



満仲公御廟

森厳な雰囲気にも包まれた御廟、満仲公・頼光公の廟所。神職様も滅多に足を入れる事の無い神域とか。

ました。予定が遅れた関係で、十分にお話を伺う時間が少なく大変に申し訳し御座いませんでした。

解散

多田神社を後にして、お急ぎの方々をJR新大阪駅で下ろした後、出発点である京都・六孫王神社にバスが

会誌『山名』第六号刊行

山名会総会にあわせて、通巻第6号になる会誌「山名」を刊行致しました。6号には会員各位より5本の玉稿をお寄せ頂きました。各位各様の山名観や活動に関する思いを著して頂いております。

中でも6号の目玉は山名年浩会長「山名氏年表」（寄稿題名『山名氏編年史の考証』）ではないかと思えます。山名氏800年の歴史と言われますが、この山名氏年表では「850年の清和天皇ご誕生」から「明徳の乱以降の1400年代」まで、山名関連の事跡を記載書籍を明示しつつ、時系列に整理頂いた大作です。会長の山名氏研究20年の「成果」とか。

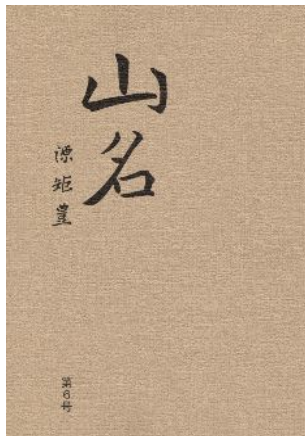
同号掲載の宮田副会長の「天朝

戻ってきたのは午後6時を回っていましたが、予定を遅れたのにも関わらず最後までお付き合い頂いた皆様には感謝申し上げます。

今回の総会は40名規模のご参加を目論み計画致しましたが、実施日程が11月末にずれ込んだ事もあってか、ご参加人数が少し伸び悩み、総勢27を滅亡の淵から救い出した山名一族『山名年表』を参考にして頂きますと、理解が尚いっそう深まります。

手前味噌ですが、お手元に置いて頂きますと山名研究の心強い助けになるのでは無いでしょうか？事務局と致しましては、是に続く後編のご寄稿を期待しています。

山名会会員諸氏には、「山名第六号」を各一冊ずつお届け申し上げます。追加分ご希望の方は事務局まで一報下さい。（一冊千円）



第21回山名会総会会計報告

名(全日程参加15名・部分参加12名)ご参加でした。

総会期間中に役員方とお話をさせて頂いたのですが、若い年代の方々を引き込む活動を考えないと、会としての発展継続は困難。もっと気軽に参加出来る活動を

考え、多くの方々にご参加頂く。総会に全ての行事を盛り込む事が、却って(拘束時間が長く)参加が難しくさせているのかも? 宿泊を含んだ活動には、経費が掛かりすぎるのでは? と言ったご意見を頂きました。多くの会員様が集って頂く事が何よりも一番大切です。気軽に多くの

方々がご参加頂ける活動が理想です。今後の行事の持ち方に関して良い方法があればご教授よろしくお願い致します。

総会会計

会計は上記の如くで若干の赤字で終わっております。赤字分は通常会計からの助成金追加でカバー致します。

いつもの事ながら、寄付金で何とか成り立っている状況で有志の皆様方には、ご厚意を十分に活かせない事で心苦しく感じて居ります。今後十分に余力を生むような事業計画を心掛けたく思っています。

会計年度も改まりましたので、年会費の納入をお願い申し上げます。

年会費納入のお願い

年会費は五千円です。該当会員様には郵便振替伝票を同封しております。ご利用の上、ご入金お願い致します。(特別会員・家族会員等除く)

昨年度未納の方には、その点記入しておりますので、申し訳御座いませぬが、2年分の納入をお願い致します。

新役員体制

冒頭でご報告のように、役員改選が御座いました。新役員各位は左表の如くです。今後、2年間よろしくお願い申し上げます。(印が新任の方々です。敬称略)

役職	氏名	地域
総裁	山名 義晴	東京
副総裁	山名 義英	東京
相談役	太田垣佐登	和歌山
	西尾 孝昌	兵庫
	三王 紀将	和歌山
会長	山名 年浩	大阪
副会長	宮田 靖國	兵庫
理事長	山名 靖英	京都
常任理事	草山 宏	神奈川
	山名 大介	名古屋
	山名 嗣宣	兵庫
理事	14名	(掲載略)

第21回山名会総会ご苦労様でした。参加者各位、ご協賛の皆様方に厚く御礼申し上げます。不手際多端の行事運営でしたがご勘弁お願い申し上げます。

山名義範前理事長様には、再興直後の不安定な会運営を良く導いて頂きました。来春、専念寺を後代に託されるのか?ご迷惑で無ければ、会にもお声掛け下さい。是非とも馳せ参じ、永年のご功績に少しでも謝意を奉じる事が出来れば有り難いです。(事務局)